

健康食品等の安全性情報ネットワーク 構築プロジェクト

食品表示分析・規格研究部 梅垣 敬三

近年の健康意識の高まり、健康効果を期待させる食品・食品成分に関する情報の氾濫に伴い、市場には"雨後の筍"のように多種多様な健康食品が出現しています。健康効果を期待させる食品には、厚生労働省が認めている特定保健用食品のように信頼できる食品もありますが、安全性・有効性に問題のある食品も多数あり、それらが関係した健康障害も発生しています。

健康食品が関連した健康障害の問題を解決するには、問題となった食品の摘発や公表も重要です。しかし、問題となった食品は時間が経てば忘れ去られ、類似した新たな食品が市場に出現するというように、根本的な解決ができにくい状況になっています。この問題の根本的な解決には、一般消費者が安易に健康食品等を利用する背景を考慮し、健康効果が期待できる食品・食品成分に関する正しい知識・情報の普及、栄養・運動・休養のバランスのとれた健全な食生活の推進、健康障害を起こしている食品の把握、を行うことが重要です。健康食品等に関する正しい情報をインターネット等により直接一般消費者に伝えることも有効な対策ですが、その場合、提供した情報が"理解しにくい、あるいは正しく伝わらない"などの問題があります。そこで当研究所では、一般消費者に最も近い存在である食品・栄養の専門職の方(主に栄養士)と「健康食品等の安全性情報ネットワーク」を構築し、そのネットワークを基盤として、先ず専門職の方に正しい情報を伝え、次に専門職の方を介して個々の一般消費者の方に適切に情

報を伝えることが、より効率的な情報の伝達方法と考えました。

以上のような考えに基づき、当研究所では昨年末に健康食品等の安全性情報ネットワーク構築プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは、1)食品・食品成分に関する正しい知識・情報、2)健康障害を起こす健康食品等に関する情報、3)その他の食品・食生活に関する問題と対策に関する情報をネットワークとして蓄積・共有・提供します。そしてネットワーク機能を活用して、厚生労働省が認めている保健機能食品等の適切な利用、健康障害を起こす食品の把握、健全な食生活の推進を図ります。具体的には、現場で要求される食品・食品成分、健康食品等に関する疑問や質問を把握し、それに対する科学的な知識や情報を整理・解析・蓄積し、最終的にそれらの情報を研究所のホームページを窓口として現場の専門職の方が活用しやすい形で提供します。ホームページから提供する情報は基本的には現場の専門職の方をサポートするためのものですが、一般の人にも公開されます。さらに、このプロジェクトでは、情報ネットワークから得られた情報を踏まえ、食品・食品成分や健康食品等に関する安全性・有効性の調査研究も行うことにしています。

現在、ネットワーク構築に御協力頂ける方を募集しています。詳しくは、研究所のホームページ(http://www.nih.go.jp/eiken/chosa/anzen_boshu.html)を参照して下さい。

図1 健康情報と健康食品の現状

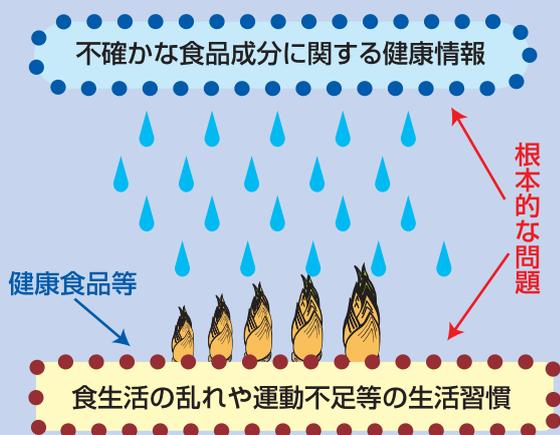


図2 健康食品等の情報ネットワークを基盤とした食品・食品成分に関する正しい情報の普及、健康障害を起こす健康食品の把握と防止、健全な食生活の推進

